

けいしゆく ～痙縮治療外来について～

麻痺があってお困りの患者様

筋肉が**硬く**なって動きにくくないですか？

ボツリヌス治療と**リハビリテーション治療**

(2週間)で**快適な1年間**を過ごしませんか？

京都山城総合医療センター痙縮治療外来での治療なら、

1年に**何度も**注射を**受ける必要はありません!**

ボツリヌス治療の流れ

※痙縮治療外来

診察日 第2・4(月)

外来受診

痙縮治療外来にて医師が治療の適応であるか判断し、入院・治療日等を決定します。



入院・治療

10時に入院。当日にボツリヌス治療を実施します。治療前にリハビリスタッフによる評価を行い、施注筋や投与量を決定します。



退院・外来

外来診察で治療効果・状況を確認。目標通りに治療効果が十分見込める場合、次回以降の治療計画を立て治療を進めていきます。



※入院スケジュールの一例

月	火	水	木	金	土	日	月
一般病棟 入院 リハビリ	地域包括 ケア病棟 転棟						
						休み	
火	水	木	金	土	日	月	
						退院	
				休み	休み		

当院のボツリヌス治療の特徴とは

ボツリヌス療法は、ボツリヌス毒素を注射することで筋肉の緊張を緩和しさまざまな症状を改善する治療です。

当センターでは注射部位をスティムプレックスHNS12やエコーを使用し神経筋接合部を探し、投与する事で**治療効果は即現れ**、しばらくは**効果が続き**、リハビリテーションを行う事で治療効果を拡大する事で個人差はありますが良くなったと感じていただいております。

スティムプレックスHNS12



対象疾患、症状

- ・脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血後の痙縮による関節可動域制限
- ・筋緊張の亢進や痙縮による疼痛出現等



治療効果

- 筋緊張（筋のつっぱり）の緩和
- 関節可動域の拡大
- 疼痛の緩和
- 介護負担の軽減



ボツリヌス治療の主な禁忌・注意点

○ 治療禁忌となる方

- ・ 妊婦、授乳婦、妊娠の可能性のある方
- ・ ボツリヌスのアレルギー方
- ・ 全身性の神経筋接合部の疾患をもつ方
- ・ 筋弛緩剤を内服中の方、その他併用注意の薬剤を服薬の方

※対象者か痙縮治療外来で医師が診察し判断します。

※紹介状が無ければ選定療養費（7,700円）必要となります。

※お問い合わせ先

京都山城総合医療センター

- ・ 外来診察・予約については地域医療連携室
- ・ リハビリテーションについてはリハビリテーション課
までお問い合わせください。

平日 9:00~17:00

TEL: (0774) 72-0235